

会社説明



名証2部:7593

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

VTホールディングス(株)グループの概要

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

(2010年3月期又は、2010年3月末日現在)

設立	1983年3月
本社	愛知県東海市
資本金	24.5億円
主な事業内容	自動車販売関連事業(売上構成比 95%) 住宅関連事業(売上構成比 3%) 環境関連事業(売上構成比 1%)
連結売上高	882億円
連結営業利益	44億円
連結経常利益	42億円
店舗数	自動車ディーラー 126店舗 レンタカー 直営22店舗、FC49店舗
グループ従業員数	1,903名
グループ構成	連結子会社23社、持分法適用関係会社3社
発行済株式数	35,924,118株

日本No1の収益性の自動車販売会社

- 当社は、業界内で圧倒的な収益性を誇る自動車ディーラーです。当社の**営業利益率5%強**に対して業界平均は1%程度です。特に、創業からのナレッジが詰まっているホンダカーズ東海は、日本一の利益率の自動車ディーラーであると自負しております。

M&Aを活用し、成熟市場で、業界再編のリーダーとして成長する会社

- 当社の売上高は上場以来の12年間で12倍に成長しています。成長の原動力はM&Aです。業績不振の新車ディーラーを買収して、**短期間で黒字化するナレッジ**があることが強みです。

制約条件をばねにイノベーションを生む会社

- 高成長、高収益を支えてきたのは、創業以来、限られたエリア、車種という制約条件の中で、仮説検証することで磨かれてきたナレッジ、しくみ、人材です。そのノウハウを買収企業の再生に活用することで、**価値をn倍化する戦略モデル**です。

新車販売に頼らない会社

- 収益性が高く、ストックビジネスであるサービス部門を伸ばすことで、安定性のある収益構造を確立しました。

安定成長の時代へ

- 上場来のM&Aによる成長の時代、2008-2009年の不採算事業撤退、B/S改善の時代を経て、**2010年3月期は過去最高益を更新**。安定成長の基盤を構築し、更なる飛躍を見据えます。

自動車ディーラーについて

(Wikipediaより、一部抜粋)

【自動車ディーラー】…自動車ディーラーとは、新車や中古車を小売する事業者(販売店)のことである。中でも、自動車メーカーと特約店契約を結んだ販売業者のことを指す。販売だけでなく、点検整備などのサービスも提供する。

【日本の新車ディーラー】…日本では、自動車メーカー、およびメーカーの制定した販売チャネル毎(車のカテゴリー、顧客層など)になっている。ただ、市場構造の変化などで、1990年代から販売チャネルを統合する動きが出ており、全販売店で全部の車種を扱う形に変更したり、県単位で存在する販売会社を地域ごとに広域統合するメーカーもある。

経営主体により、自動車メーカー自身で経営する「メーカー系」と、地域の有力者らが経営権を持つ「地場系」の2つに分類される。

自動車の価格が百万円弱～1千万円程度と高価であり、日本では自動車の販売取引行為に際して官公庁の検査や諸登録が必要であることなど、販売形態が特殊であることから、家電量販店やディスカウントストアなどのような、複数メーカーの新車販売を大規模に扱う販売店(外国で言うメガディーラ)は出現していない。(一部自動車整備業や農業協同組合(JA)、独立系中古車販売店が新車ディーラーから取り寄せる形で、小規模に複数メーカーの新車(特に軽自動車)の販売を行う場合はある)

BUT

当社は、M&Aを通じ、複数メーカーの新車ディーラーを日本各地で行っております。

当社のグループ展開

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

HONDA販売代理店



㈱ホンダカーズ
東海
26店舗



ロータス輸入総代理店



エルシーアイ㈱
直営 1店舗
代理店 26店舗



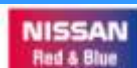
中古車輸出事業



㈱トラスト
世界100カ国以上
に輸出



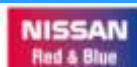
NISSAN販売代理店



長野日産自動車㈱
39店舗



静岡日産自動車㈱
33店舗



三河日産自動車㈱
13店舗

ケーターハム輸入総代理店



ピーシーアイ㈱
直営 1店舗
代理店 19店舗



売上高構成比 95%



フォード販売代理店



㈱フォードライフ
中部
12店舗



ジャガー・ランドローバー販売代理店



VTインター
ナショナル㈱

1店舗



レンタカー事業



J-netレンタ
リース㈱
直営 22店舗
FC 49店舗



省エネルギーソリューションシステム事業



E-FOUR㈱
世界13カ国
に代理店網



デザイナーズハウス建築・販売



㈱アーキッシュ
ギャラリー
3店舗



2010年5月 移転リニューアル
大阪ギャラリー

安定成長の実現に向けて

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

財務リストラを進め安定成長のステージへ



業界随一の成長率:98/3-10/3で売り上げ規模は約12倍に

業界随一の収益性:経常利益率5%超vs業界平均約1%

2010年3月期に最高益を更新

M&Aの活用で高成長を実現



創業当初～上場
：愛知県東海市



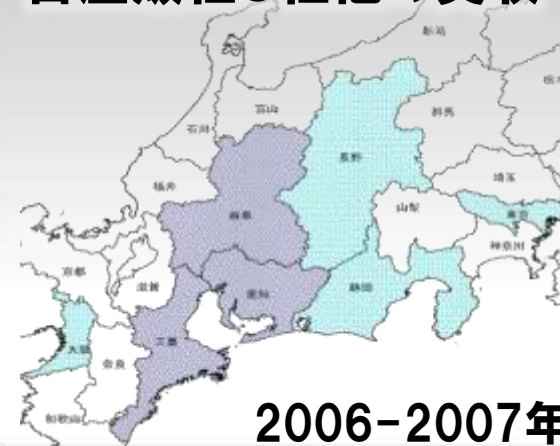
設立1983年

ホンダ・フォード販社の
買収



1999-2003年

日産販社3社他の買収



2006-2007年

主なM&A実績

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

自動車販売関連事業

ホンダ

1999年3月	株式会社ホンダ自販名南	ホンダ系ディーラー(5店舗)	株式譲受	当社(旧ホンダ'ヘルノ東海)とこれらを統合し、現在はホンダ'カーズ'東海として運営
2000年4月	株式会社ホンダベルノ岐阜	ホンダ系ディーラー(2店舗)	営業譲受	
2000年4月	中京ホンダ株式会社	ホンダ系ディーラー(3店舗)	株式譲受	
2000年5月	株式会社ホンダ新知多	ホンダ系ディーラー(1店舗)	営業譲受	
2002年1月	株式会社ホンダプリモ東海中	ホンダ系ディーラー(1店舗)	営業譲受	

日産

2006年1月	長野日産自動車株式会社	日産系ディーラー(41店舗)	株式譲受	
2006年7月	静岡日産自動車株式会社	日産系ディーラー(39店舗)	株式譲受	
2006年7月	三河日産自動車株式会社	日産系ディーラー(13店舗)	株式譲受	

フォード

1999年3月	株式会社フォードライフ中部	フォード系ディーラー(9店舗)	株式譲受	これらを統合し現在はフォードライフ中部として運営
1999年9月	株式会社フォード鈴鹿	フォード系ディーラー(1店舗)	営業譲受	
2000年2月	株式会社フォード新岐阜	フォード系ディーラー(1店舗)	営業譲受	

ジャガー・ランドローバー

2005年9月	VTインターナショナル株式会社	ジャガー・ランドローバーディーラー(1店舗)	営業譲受	
---------	-----------------	------------------------	------	--

ロータス

2005年4月	株式会社エル・シー・アイ	ロータス輸入総代理店(1店舗)	増資引受	
---------	--------------	-----------------	------	--

中古車輸出

2003年3月	株式会社トラスト	中古車の輸出	株式譲受	
---------	----------	--------	------	--

レンタカー

1999年6月	株式会社オリックスレンタカー中部	レンタカー会社(2店舗)	営業譲受	これらを統合し現在はJ-netレンタリースとして運営
2000年6月	株式会社オリックスレンタカー大阪	レンタカー会社(4店舗)	営業譲受	

その他事業

2001年5月	株式会社夢建人	注文住宅販売(2店舗)	営業譲受	現アーキッシュギャラリー
2003年8月	株式会社ホームダイレクト	家具・雑貨等の通信販売	株式譲受	事業売却済
2004年1月	株式会社シー・イー・エス	コンピューターソフトの製造・販売	株式譲受	
2004年10月	愛好電機株式会社	省電力装置製造販売	営業譲受	現E-FOUR
2004年11月	聖心美容外科	美容整形クリニック(6院)	営業譲受	事業売却済

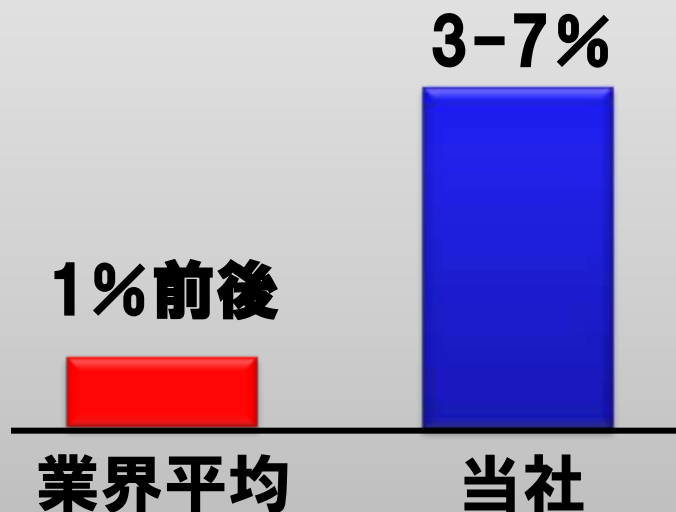
利益を出す「仕組み」作り

上場までの15年間、地域、車種の制限の中、高い収益性を実現する経営ノウハウを構築。そのしくみをその後のグループ経営に活用。

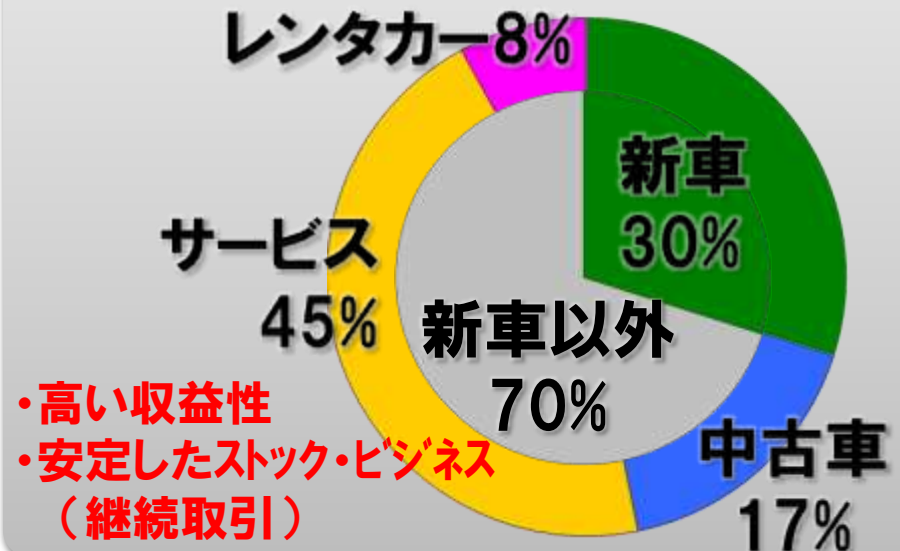
新車販売に依存しない 収益体制を構築

新車以外の粗利益で全社販売管理費をほぼカバーする収益構造。

【業界平均の3～7倍 の営業利益率】



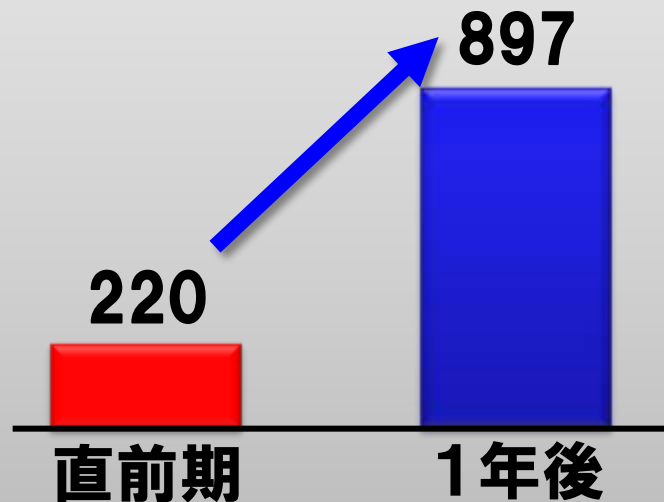
【自動車セグメントの 粗利構成】



リストラではなく「仕組み」で改善

当社関与会社の経常利益 の変化

(単位:百万円)



- ・M&A前後の比較(コンサルティング関与3社の平均額)
- ・コンサルティングフィー計上前

【やること】

- ・オペレーションのノウハウ注入
- ・経営陣の派遣

【やらないこと】

- ・人員削減
- ・賃金カット

オペレーション改善の例

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

一般ディーラー		VT WAY	効 果
新車	訪問営業	店頭商談に注力	高い来店成約率 (当社30%vs平均 8%以下)
	値引き交渉	ワンプライス戦略 (透明・公正)	

高い1台当たり粗利益

中古車	メーカー基準で下取 (査定価格はあいまい)	買取価格は時価 (第三者査定)	高い下取率 (当社70%vs平均 50%前後)
	系列店舗で販売	オークションで販売	高い回転率

高い回転率＝安定収益

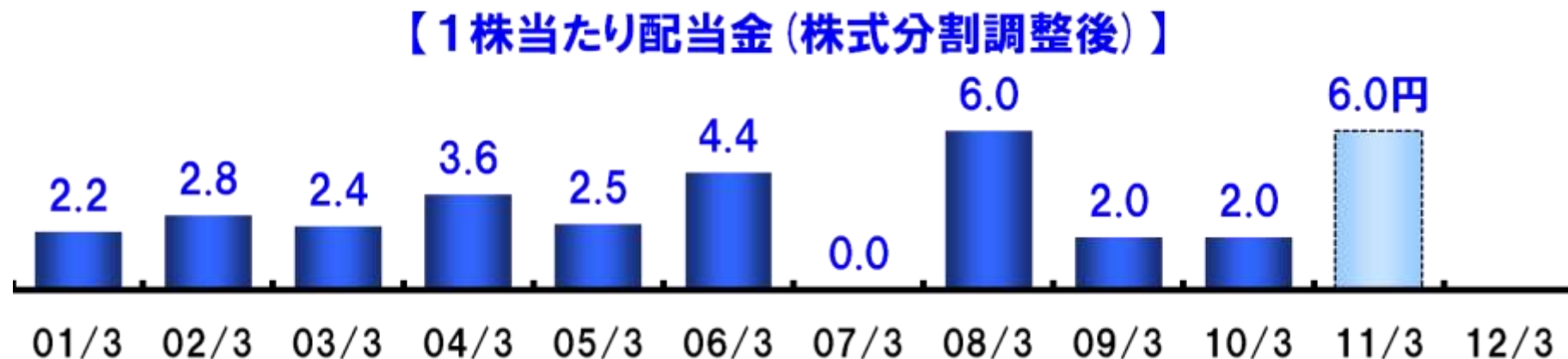
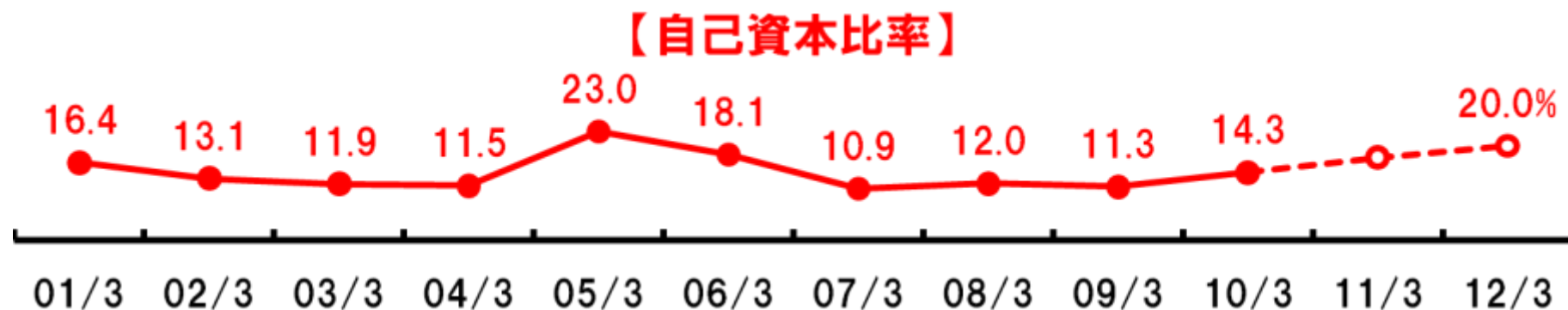
高い利益水準の継続

(単位:百万円)

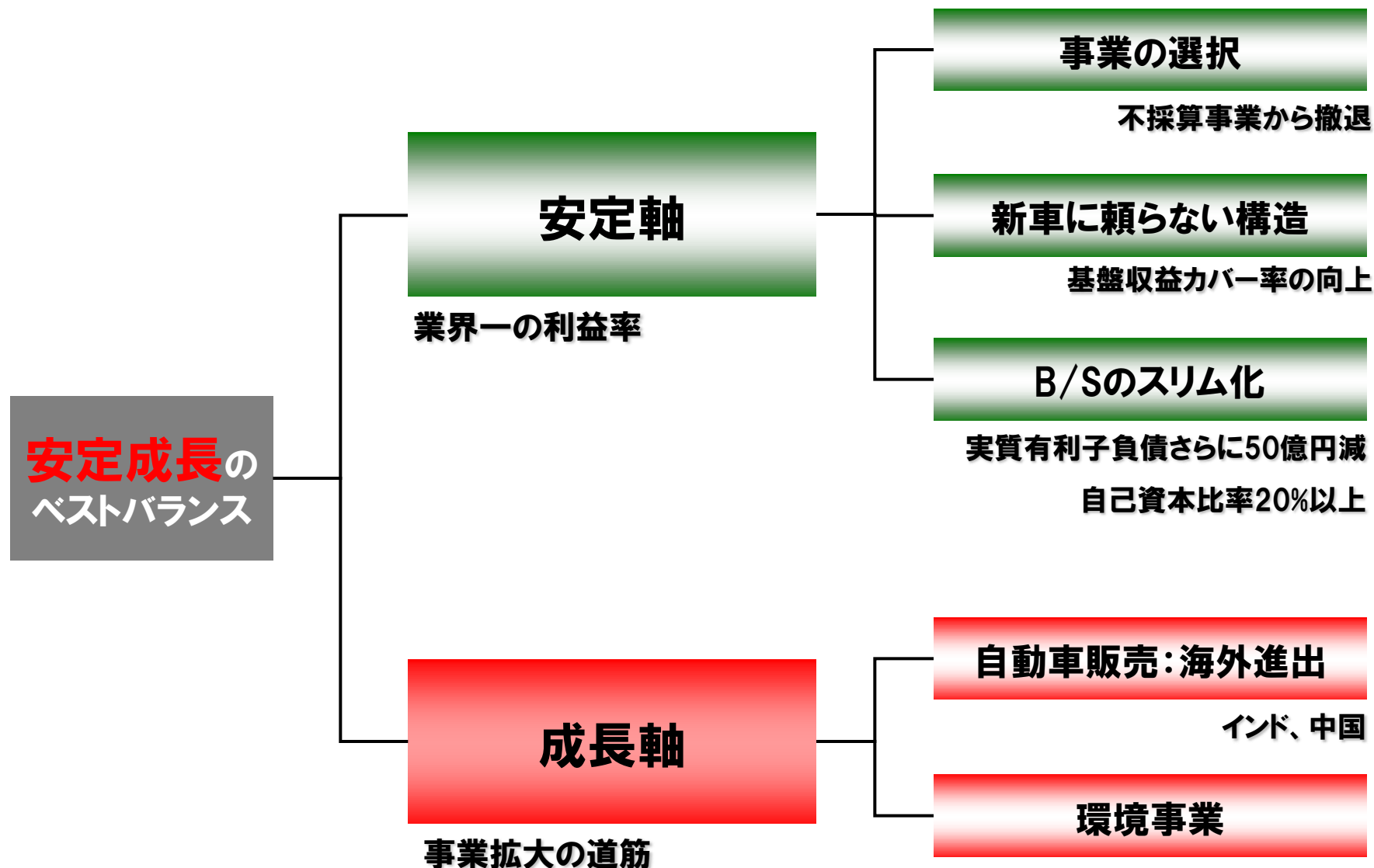
	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	前年比
売上高	48,524	97,735	107,976	93,430	88,276	94.5%
営業利益	1,851	2,820	3,370	2,393	4,464	186.5%
経常利益	1,837	2,841	3,059	1,929	4,226	219.1%
売上高 経常利益率	3.7%	2.9%	2.8%	2.0%	4.7%	—
当期純利益	517	△719	1,161	△423	1,809	—
1株当たり 当期純利益	15.85円	△22.45円	34.02円	△12.61円	53.62円	—
自己資本 当期純利益率	6.3%	△8.9%	15.0%	△5.4%	21.1%	—

成長投資、財務の安全性とのバランスの中で 株主還元を実現

10/3期は期末に2円の復配、12/3期までの自己資本比率20%の達成を
考慮しつつ安定的な株主還元策として11/3期は6円の配当を予定しています



經營課題



事業の選択と集中

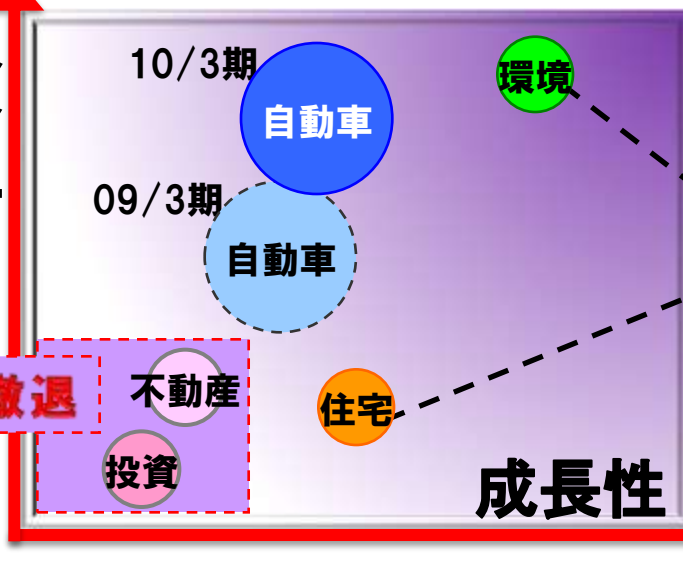
コア事業への集中を進めています

財務体質の強化

不動産賃貸・投資事業は縮小・廃止

収益性

縮小撤退



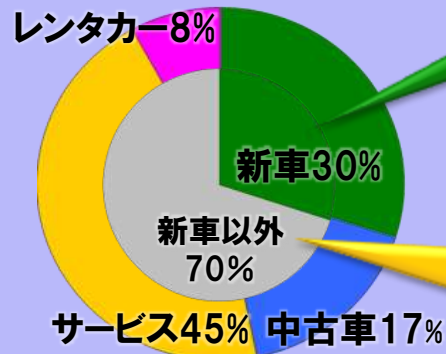
営業CFの最大化

住宅・環境関連事業は維持拡大

自動車販売関連事業に集中

新車に頼らない構造

■セグメント別営業利益構成 ■自動車セグメント部門別粗利構成



新車台当り粗利の向上

・オリジナル商品との組み合わせによるセット販売、ワンプライス戦略

新車販売に依存しない体質

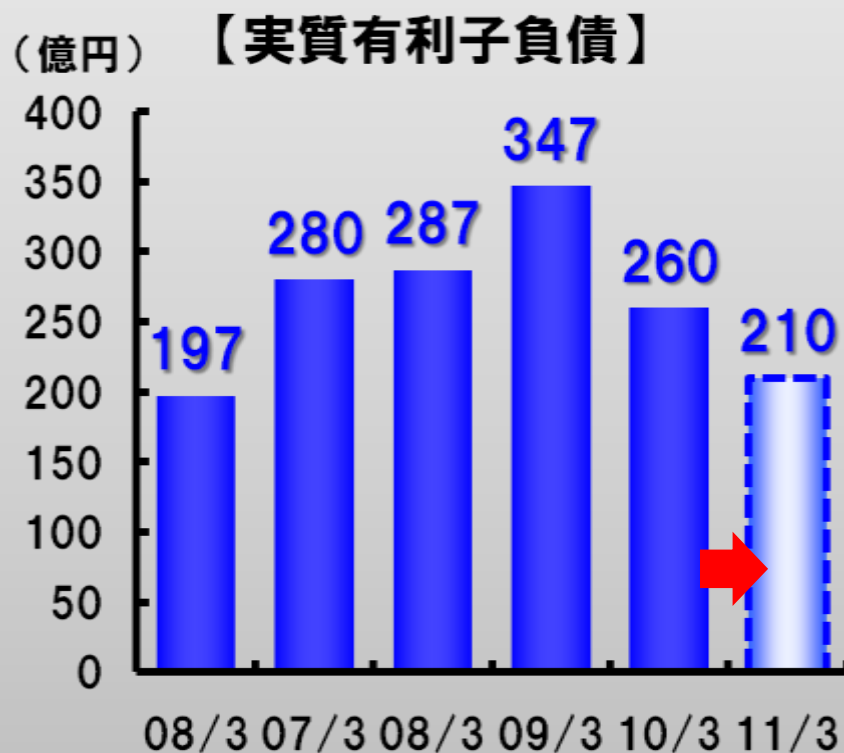
＝「基盤収益カバー率」の向上

・点検、車検台当り売上高・粗利の増加や保険取扱強化による周辺利益の拡大
・付加価値商品提案型サービスによる部品・用品販売の強化

※連結消去及び全社費用はその他に含む

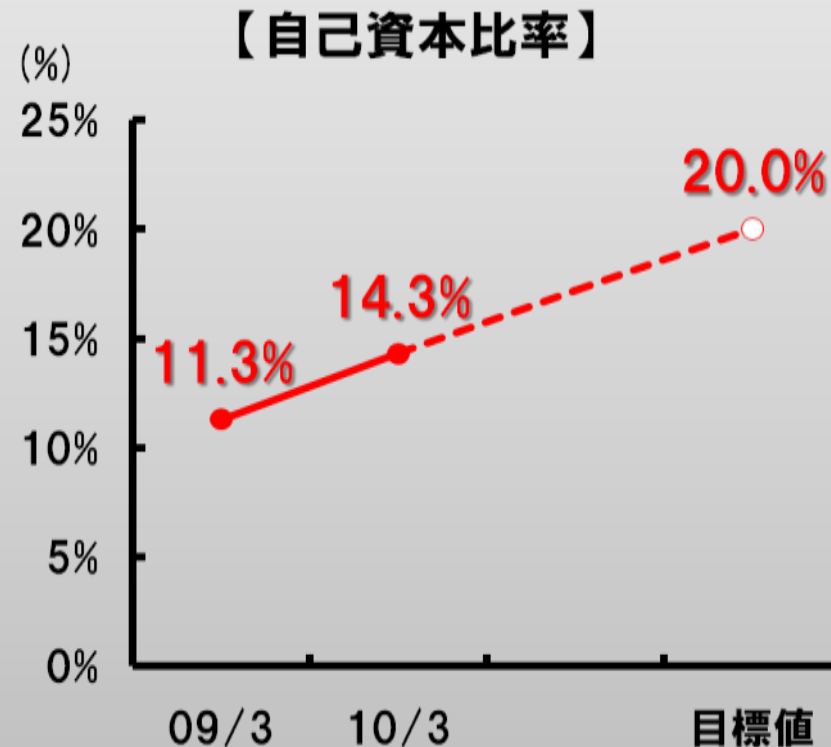
財務のリストラを進めています

実質有利子負債を10/3期末残高から**50億円**削減



※実質有利子負債＝有利子負債－現預金

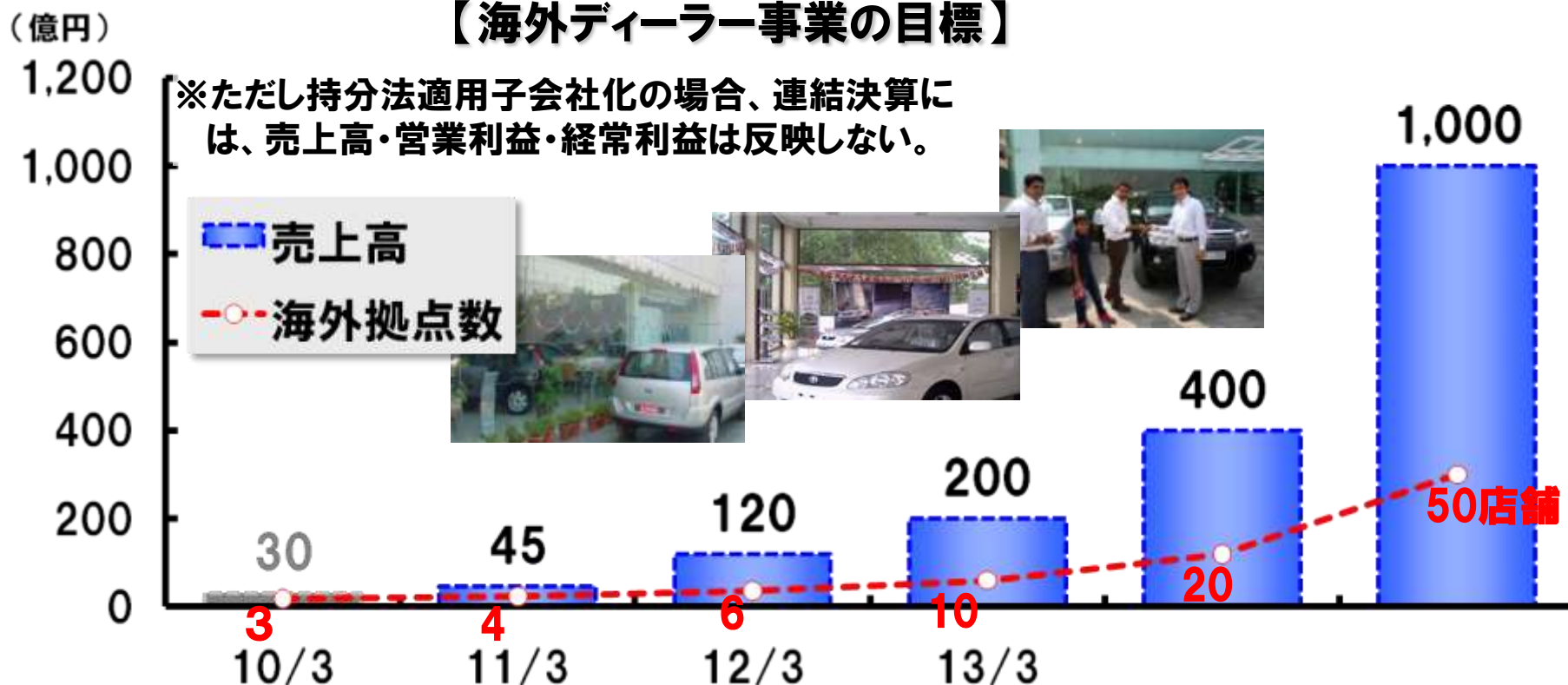
12/3期末までに
自己資本比率を**20%**



双日との提携で海外展開を進めます

海外コンサルティング先に対して、双日とともに資本参加することを検討中
インドでの実績、中国での機会、新規出店やM&Aにより、13/3期を目処に
10店舗、売上200億円規模を目標とする

【海外ディーラー事業の目標】



「双日株式会社との業務提携に関するお知らせ」(2009年11月24日公表)のとおり、2009年12月1日付けで総合商社の双日株式会社と自動車ビジネスに関する業務提携契約を締結しております。



インド、中国、その他東南アジア地域等における合併形態による自動車ディーラービジネスへの参画

双日が展開している海外の自動車ビジネスに対する事業協力

双日のもつ国内外のビジネスネットワークを活用し、
共同で事業展開を検討

日本における新たな輸入車インポーター権の獲得

国内外における中古車販売ならびにレンタカー等に係る業務提携

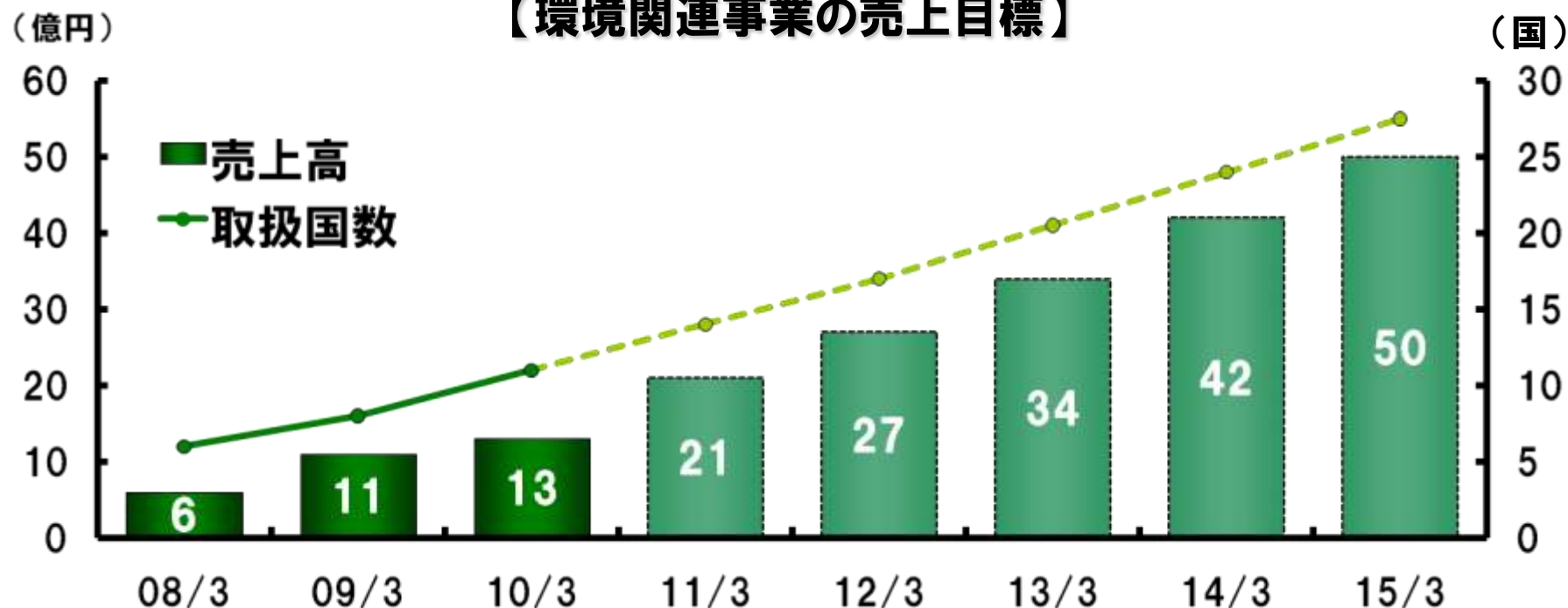
当社グループは成長性の高い海外市場における自動車販売関連事業の具体的展開の可能性について検証を行うため、2008年からタイ、インド、韓国等の地域における自動車ディーラーに対し経営コンサルティングを行ってまいりましたが、当社グループの経営ノウハウが海外においても有効であり、経営改善が十分に可能であることが確認できております。

具体的内容については両社の間で協議を進めており、明らかになり次第、順次お知らせします。

成長市場を背景に、収益拡大を進めます

- ・高い収益性と成長性を示しており、自動車セグメントに続く第2の収益源として期待
- ・省電力装置を製造販売するE-FOURは、海外販売網の拡充を推進しており昨年度、オーストラリア、タイ、中国などに販路を拡大
- ・5年後の環境関連事業の売上高として50億円規模を目標

【環境関連事業の売上目標】



決算内容

減収、増益

- 厳しい外部環境ながら、下期のエコカー補助金が追い風に
- 事業の再構築、費用削減により、**過去最高益**
- 営業利益率が大きく改善、過去のピークに

BSの改善

- 有利子負債を圧縮
- 自己資本比率 3.0%改善

期末に2円復配

- 過去最高益が寄与し、09/3期の特別損失を穴埋め



2010年3月期 実績

10/3期は過去最高益を達成

(単位:百万円)

	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	前年比
売上高	48,524	97,735	107,976	93,430	88,276	94.5%
営業利益	1,851	2,820	3,370	2,393	4,464	186.5%
経常利益	1,837	2,841	3,059	1,929	4,226	219.1%
経常利益高率	3.7%	2.9%	2.8%	2.0%	4.7%	—
当期純利益	517	△719	1,161	△423	1,891	—
1株当たり利益	15.85円	△22.45円	34.02円	△12.61円	56.05円	—
自己資本率	6.3%	△8.9%	15.0%	△5.4%	19.4%	—
販売費	981	2,265	2,506	2,196	1,951	88.8%
人件費	3,944	7,818	8,635	8,432	8,032	95.3%
設備費	1,930	3,047	3,421	3,434	2,918	85.0%
管理費	1,379	1,927	1,890	1,806	1,547	85.7%
販売費及び一般管理費合計	8,234	15,058	16,453	15,868	14,450	91.0%
損益分岐点	38,658	80,079	86,962	79,513	65,043	81.8%
損益分岐点比率	79.7%	81.9%	80.5%	85.1%	73.7%	—

2010年3月期 セグメント別損益

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

自動車セグメントが大幅改善

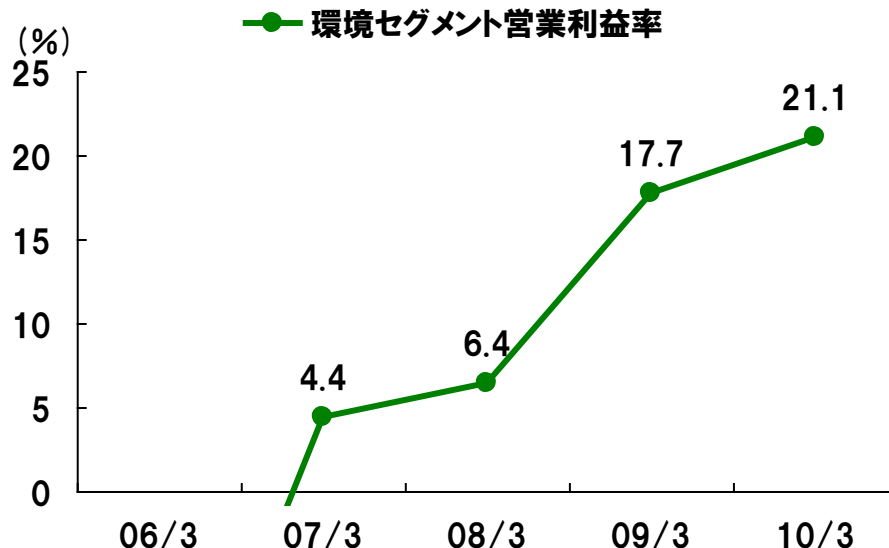
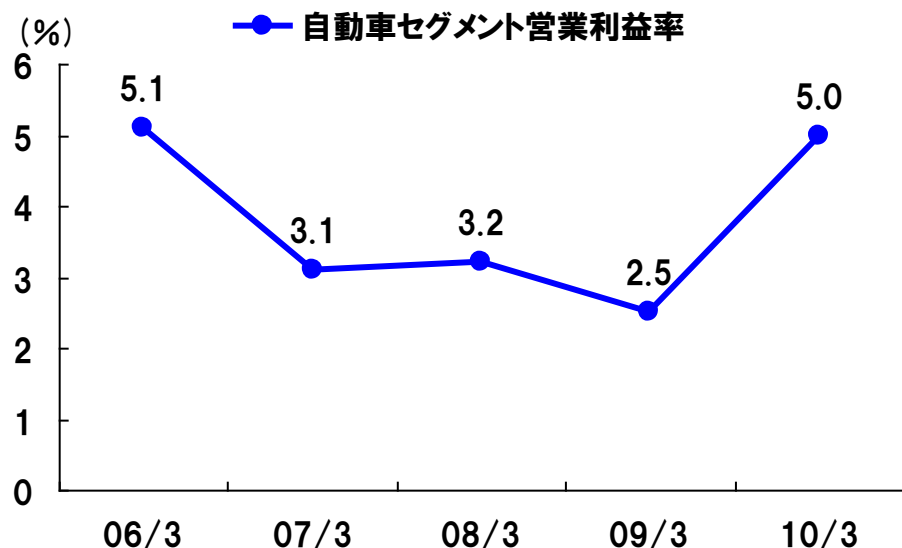
(単位:百万円)

		06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	前期比
売上高	自動車	42,717	94,626	104,910	88,853	83,594	99.2%
	環境	565	754	683	1,129	1,363	158.3%
	その他	5,240	2,353	2,381	3,447	3,318	89.0%
	連結	48,524	97,735	107,976	93,430	88,276	99.7%
営業利益	自動車	2,198	2,978	3,417	2,243	4,157	185.3%
	環境	△402	33	44	200	287	143.5%
	その他	214	34	201	329	148	45.0%
	連結	1,851	2,820	3,370	2,393	4,464	186.5%

Points

自動車セグメントは、営業利益率を大幅改善
(2.5% ⇒ 5.0%)

成長市場である環境セグメントは、売上高・営業利益共に好調推移



負債を圧縮

(単位:百万円)

	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3
現金及び預金	2,430	2,215	2,297	1,908	7,042
受取手形及び売掛金	4,015	5,868	5,478	3,319	3,237
その他	11,113	10,585	10,598	10,681	12,871
流動資産合計	17,558	18,665	18,373	15,908	23,152
有形固定資産合計	11,084	25,083	26,521	29,068	25,311
無形固定資産合計	8,366	14,866	14,139	13,315	12,502
投資その他の資産合計	11,332	8,753	8,661	7,712	6,862
固定資産合計	30,783	48,702	49,321	50,096	44,676
繰延資産	-	8,805	4,402	-	-
資産合計	48,342	67,377	67,699	66,005	67,829
流動負債	25,480	39,271	41,802	44,364	42,893
固定負債	13,200	17,417	15,134	13,376	14,446
負債合計	38,681	56,689	56,937	57,741	57,339
資本金・剰余金	7,874	7,339	8,427	7,793	9,760
自己株式	△312	△71	△100	△218	△193
株主資本合計	7,562	7,268	8,327	7,574	9,567
その他	1,198	3,419	2,434	689	922
純資産合計	8,760	10,687	10,762	8,263	10,489
負債純資産合計	48,342	67,377	67,699	66,005	67,829

Points

現預金の大幅増
(前年同期比+51億円)

固定資産の圧縮
(前年同期比△54億円)

- ・不動産の売却 約30億円
- ・試乗車のリース切替 約9億円

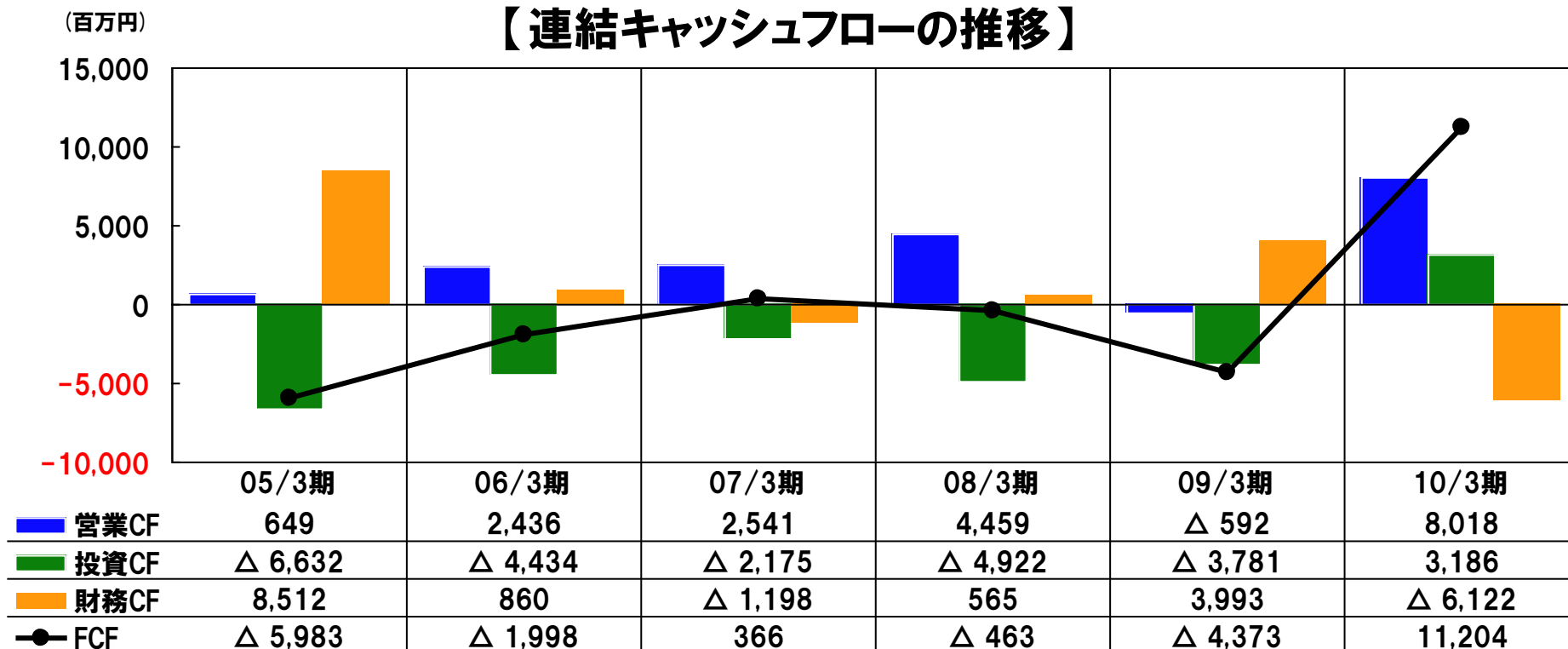
負債の圧縮
(前年同期比△4億円)

純資産の増加
(前年同期比+22億円)

- ・新株予約権による増資 +150百万円
- ・当期純利益 +1,809百万円
- ・株価上昇によるその他有価証券
評価差額金 +231百万円

営業C/Fを借入金の返済へ

【連結キャッシュフローの推移】



Points

キャッシュフロー経営の推進のため、実質有利子負債を圧縮する各種施策を展開したことで、**FCFが大幅改善**、営業CF・投資CFともに過去最高額となる。

(09/3期比 FCFベースで150億円以上の改善)

※FCF(フリーキャッシュフロー) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

自動車セグメント 部門別 売上・粗利

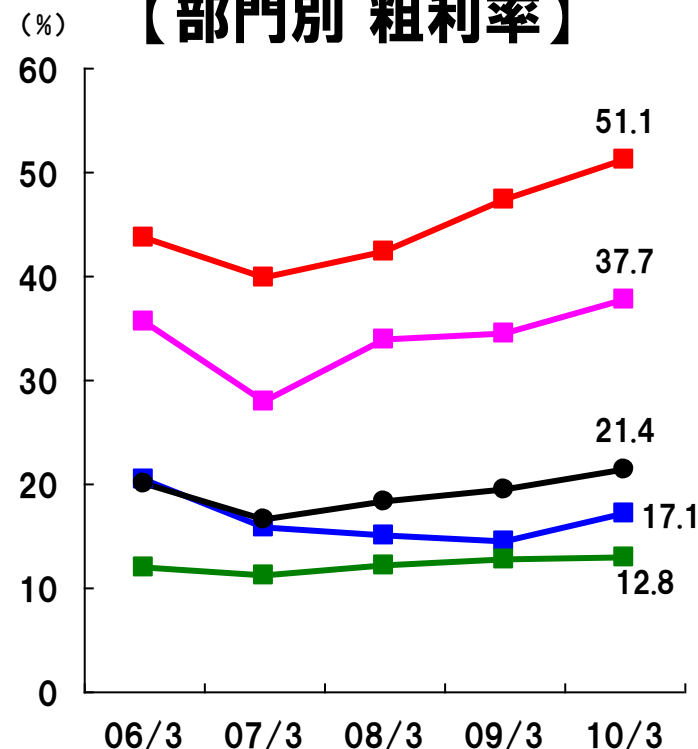
VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

レンタカー部門が好調

(単位:百万円)

		06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	前期比
売上高	新車	20,225	48,969	52,590	42,005	41,686	99.2%
	中古車	13,484	23,992	27,925	22,833	17,656	77.3%
	サービス	6,884	19,334	21,828	21,691	21,458	98.9%
	レンタカー	2,122	2,330	2,566	2,323	2,792	120.1%
	合計	42,717	94,626	104,910	88,853	83,594	94.0%
粗利益	新車	2,422	5,525	6,431	5,362	5,356	99.8%
	中古車	2,754	3,767	4,200	3,323	3,027	91.0%
	サービス	2,451	5,399	7,416	7,468	8,095	108.3%
	レンタカー	926	931	1,086	1,101	1,429	129.7%
	合計	8,555	15,622	19,133	17,256	17,908	103.7%
粗利率	新車	12.0%	11.3%	12.2%	12.8%	12.8%	-
	中古車	20.4%	15.7%	15.0%	14.6%	17.1%	+2.5%
	サービス	35.6%	27.9%	34.0%	34.4%	37.7%	+3.3%
	レンタカー	43.6%	34.0%	42.3%	47.4%	51.2%	+3.8%
	合計	20.0%	16.5%	18.2%	19.4%	21.4%	+2.0%

【部門別 粗利率】



Points

自動車セグメント全体では、減収増益

⇒粗利率 +2.0%

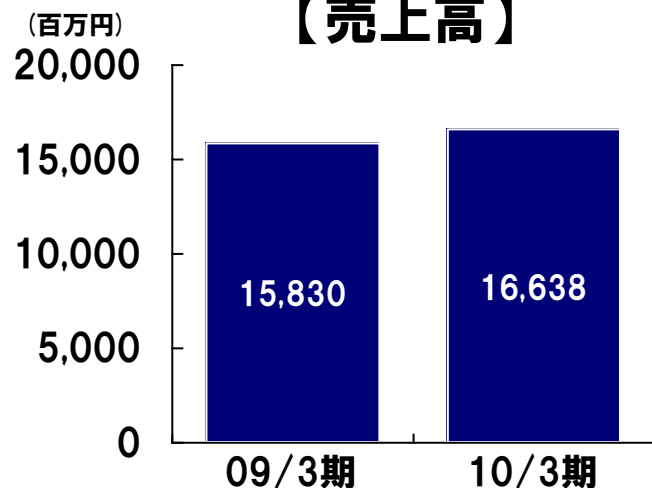
粗利益は、サービス部門+8.3%、レンタカー部門+29.7% となり自動車販売関連事業の粗利率の向上に大きく寄与

ご参考

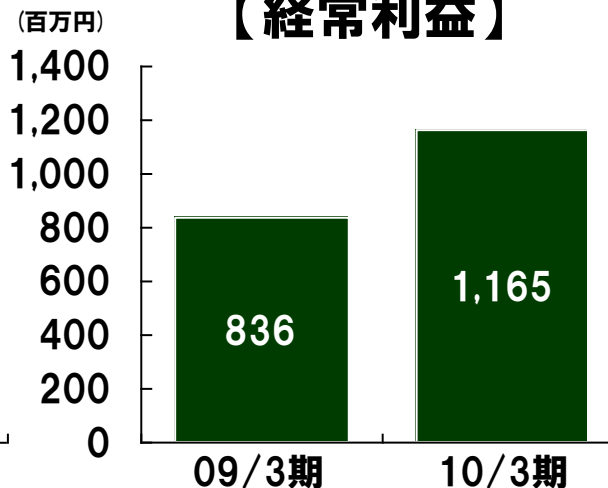
子会社紹介 ホンダカーズ東海

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

【売上高】



【経常利益】



HONDA

〈愛知県尾張、岐阜県西濃〉

- ・新車24拠点
- ・中古車2拠点

Points

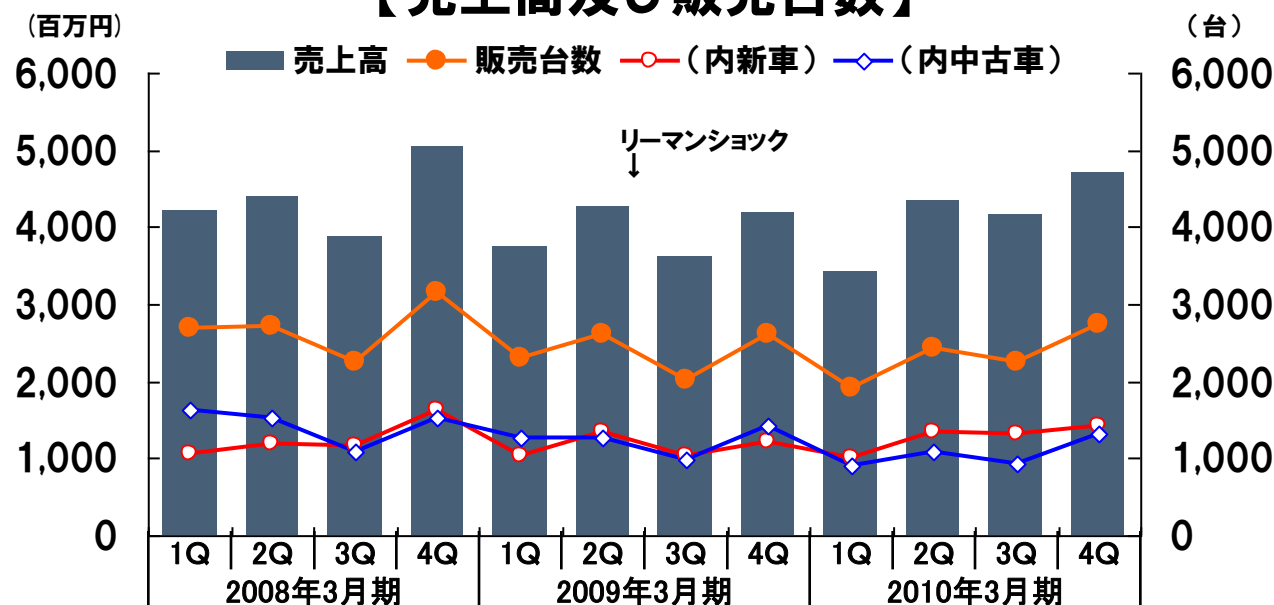
過去最高益を更新

売上高経常利益率 7.0%
(前年同期 5.3%)

連結売上高に対する構成比 18.8%

上場時の母体企業でもあり、
ここで培われた運営ノウハウ
がグループ傘下の他のディー
ラーに注入され、収益性強
化に寄与

【売上高及び販売台数】



ホンダ車のトピックス

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社



取扱車種



フィット



フリード



エディックス



ステップワゴン



S2000



エアウェイブ



ストリーム



パモス



ゼスト



ライフ



オデッセイ



インスパイア



エリシオン



レジェンド



CR-V



アコード



クロスロード



シビック

10年3月期

10月

「ステップワゴン」
フルモデルチェンジ
10/9



2月

「CR-Z」 2/26

ハイブリッド車で世界
初のスポーツカー「C
R-Z」。
最も低い車両価格
226万8千円。



11年3月期

7月

「フリードスパイク」
7/9

人気の小型ミニバン「フ
リード」のスパイクバ
ージョン。



下期

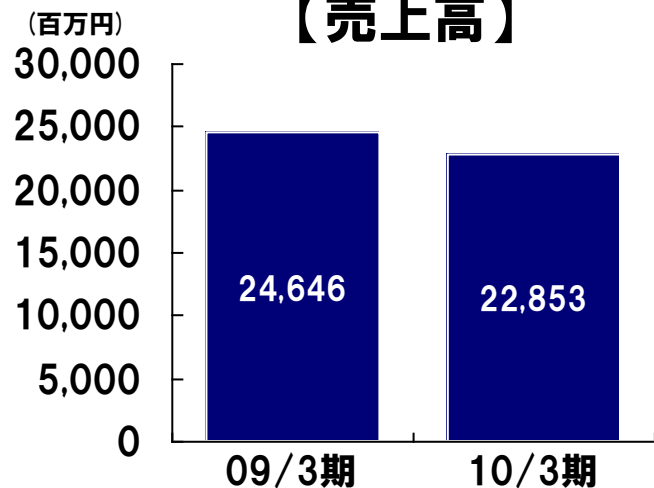
「フィットハイブリット」

人気の「フィット」にハイブリッドが新発売予定

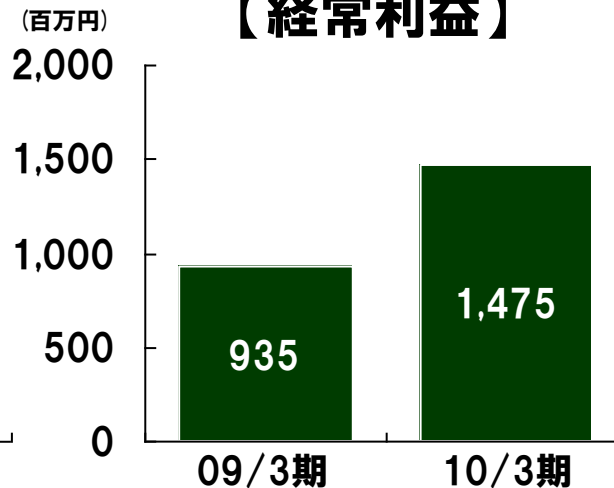
子会社紹介 長野日産自動車

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

【売上高】



【経常利益】



＜長野県全域＞

- ・新車31拠点
- ・中古車8拠点

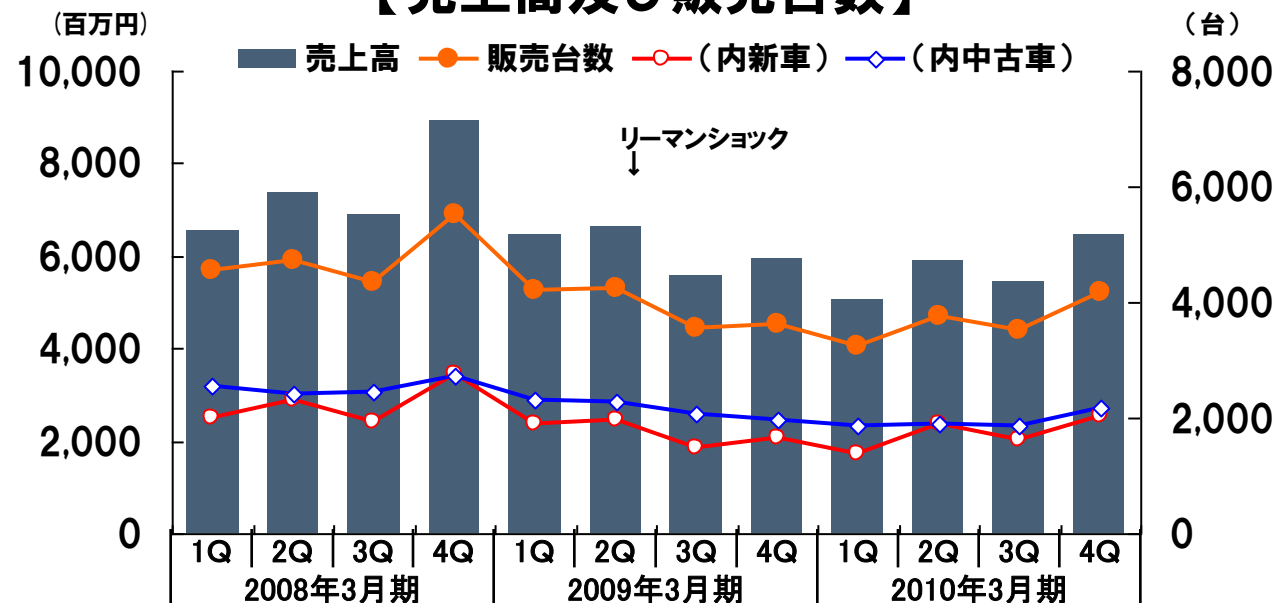
Points

過去最高益を更新

売上高経常利益率 6.5%
(前年同期 3.8%)

連結売上高に対する構
成比 25.9%

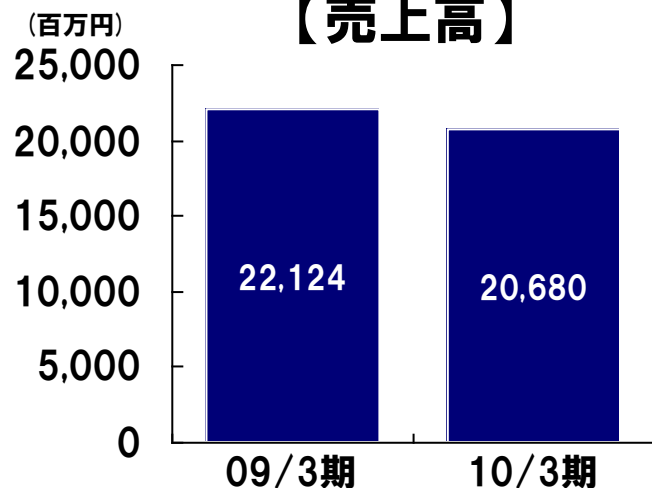
【売上高及び販売台数】



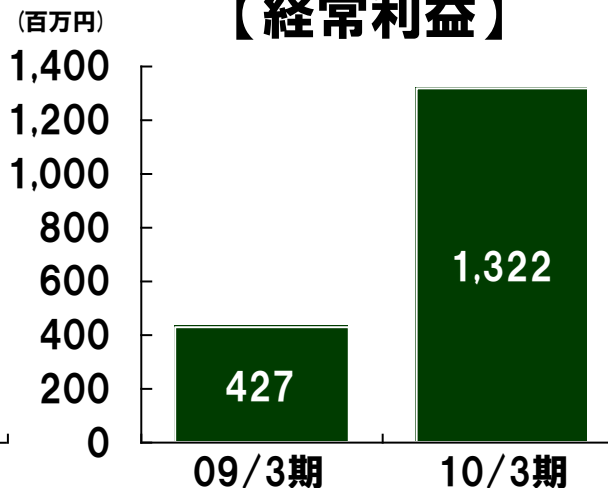
子会社紹介 静岡日産自動車

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

【売上高】



【経常利益】



＜静岡県中東部＞

- ・新車28拠点
- ・中古車4拠点

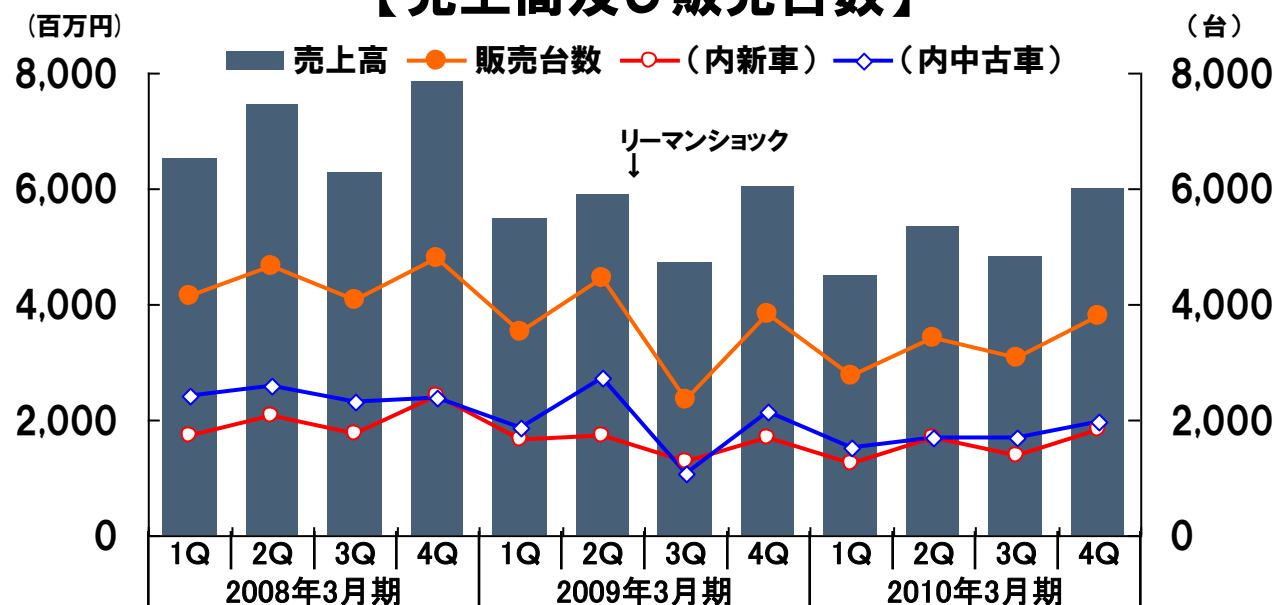
Points

過去最高益を更新

売上高経常利益率 6.4%
(前年同期 1.9%)

連結売上高に対する構成比 23.4%

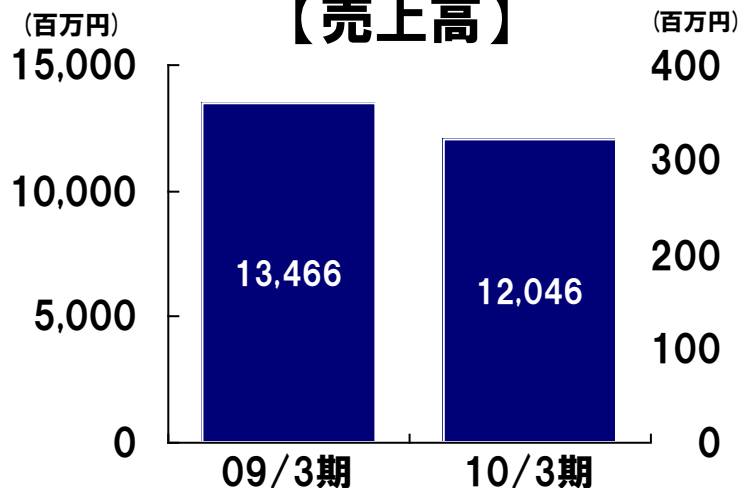
【売上高及び販売台数】



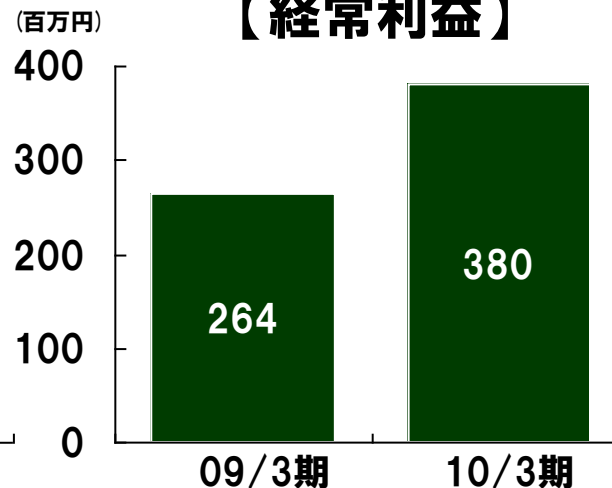
子会社紹介 三河日産自動車

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

【売上高】



【経常利益】



<愛知県西三河>

- ・新車11拠点
- ・中古車2拠点

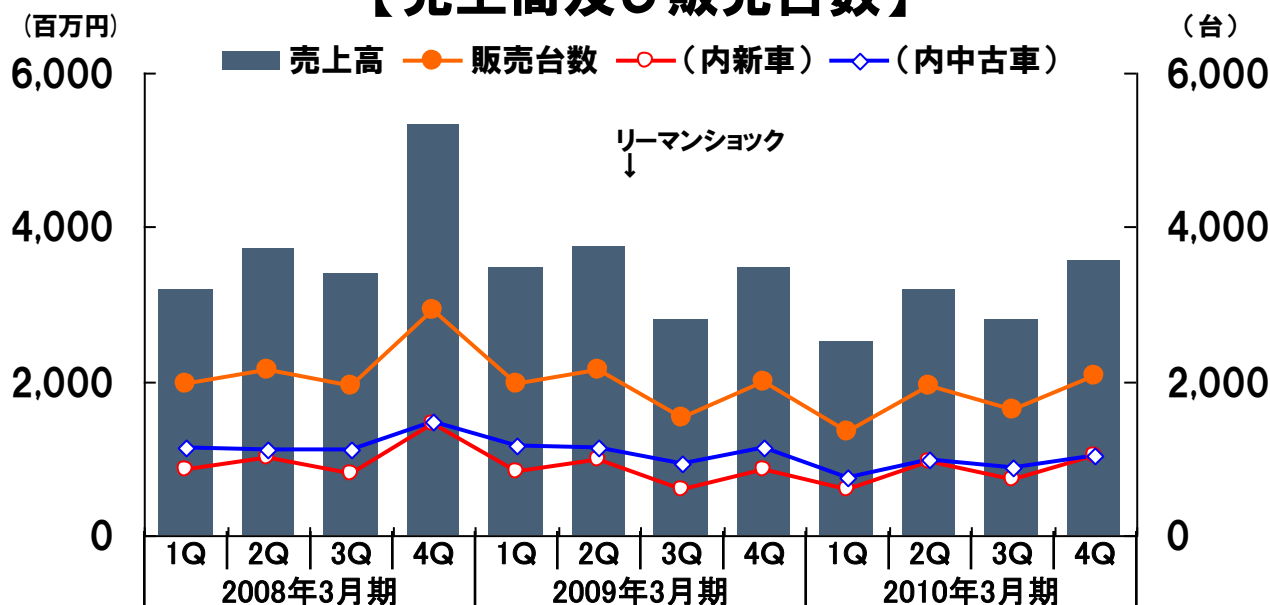
Points

売上高経常利益率 3.2%

(前年同期 2.0%)

連結売上高に対する構成比 13.6%

【売上高及び販売台数】



日産系販社 日産車のトピックス

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社



取扱車種



ティダ



ノート



キューブ



マーチ



マイクラ C+C



ルークス



モコ



オッティ



キックス



ピノ



クリッパーリオ



シルフィ



ラティオ



エルグランド



セレナ



ラフェスタ



NV200バネット



ウイングロード



GT-R



スカイライン
クーペ



フェアレディZ



スカイライン
クロスオーバー



ムラーノ



エクストレイル



デュアリス



プレジデント



シーマ



フーガ



スカイライン



ティアナ

10年3月期

12月

「ルークス」が新登場 12/1

広い室内空間と洗練されたデザインの新型軽自動車を開発開始。



11年3月期

6月

「ジューク」が新登場 6/9

新型コンパクトスポーツクロスオーバー。



7月

「マーチ」がフルモデルチェンジ 7/13

クラスNo.1の低燃費
26.0km/Lを実現し、キャッチフレーズは「エコマーチ」。



8月

「エルグランド」

主力ミニバン「エルグランド」がフルモデルチェンジ予定。

下期

「リーフ」

2010年度後半に発売予定の電気自動車。



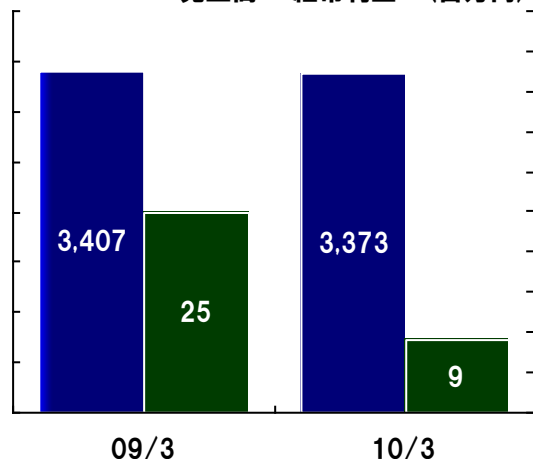
子会社紹介 輸入車 4社

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

フォードライフ中部

＜愛知岐阜三重＞
・新車3拠点 ・その他9拠点

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



フォードの新車販売
を行いつつ、軽自動
車を中心としたサブ
ディーラーを展開

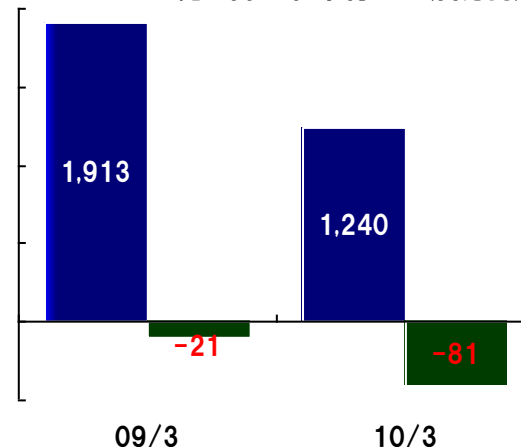
堅調に推移

連結売上高に対する構成比
3.8%

エルシーアイ

＜全国＞ ・直営1拠点 ・代理店26拠点

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



新型車「エヴォーラ」
の発売遅延により、
昨年度は計画未達。

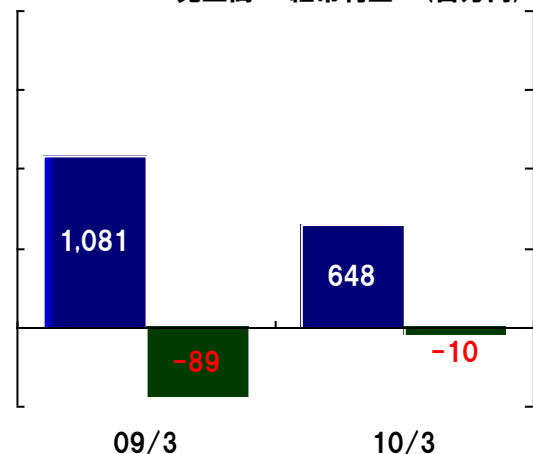
今期は「エヴォーラ」
が本格的に収益寄
与

連結売上高に対する構成比
1.4%

VTインターナショナル

＜大阪1拠点＞

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



昨年度、不採算店
を1店舗閉鎖。

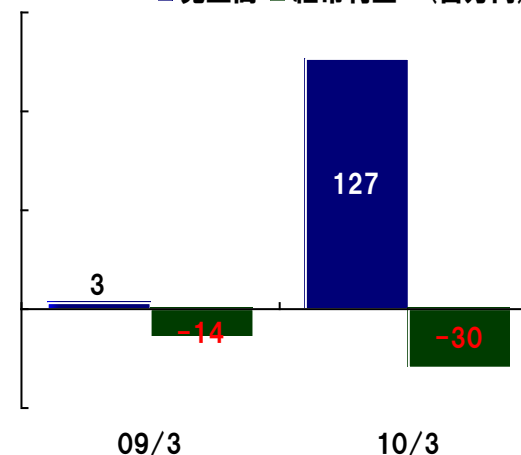
今期は、主力車種
ジャガーXJのニュー
モデルに期待。

連結売上高に対する構成比
1.4%

ピーシーアイ

＜全国＞ ・直営1拠点 ・代理店19拠点

■ 売上高 ■ 経常利益 (百万円)



今期はケータハムの
取扱が本格始動

引続き取り扱いブラ
ンド拡充を目指す

連結売上高に対する構成比
0.1%

車種別 [新車販売台数]

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社

2010年3月期実績

(単位:台)



ホンダ車		
1	FIT	1,301
2	フリード	842
3	インサイト	835
4	ステップW	562
5	LIFE	350
6	ストリーム	258
7	オデッセイ	251
8	ZEST	251
9	バモス	76
10	エリシオン	74
10	CR-Z	74
	その他	246
	合計	5,120

■ は軽自動車



日産車		
1	セレナ	2,330
2	ノート	1,985
3	キューブ	1,907
4	モコ	1,726
5	エクストレイル	1,303
6	ティーダ	1,191
7	マーチ	1,014
8	ルークス	751
9	クリッパー	548
10	オッティ	411
	その他	3,193
	合計	16,359

■ は軽自動車



輸入車		
1	EliseS	86
2	ExigeS	31
3	EliseR	20
4	Evora	19
5	EliseSC	15
6	RoadSports200	15
7	ジャガーXF	10
8	エクスポローラー	10
9	ジャガーX	9
10	エスケープ	8
	その他	38
	合計	261

■ はLOTUS ■ はFORD

■ はJAGUAR & LANDROVER

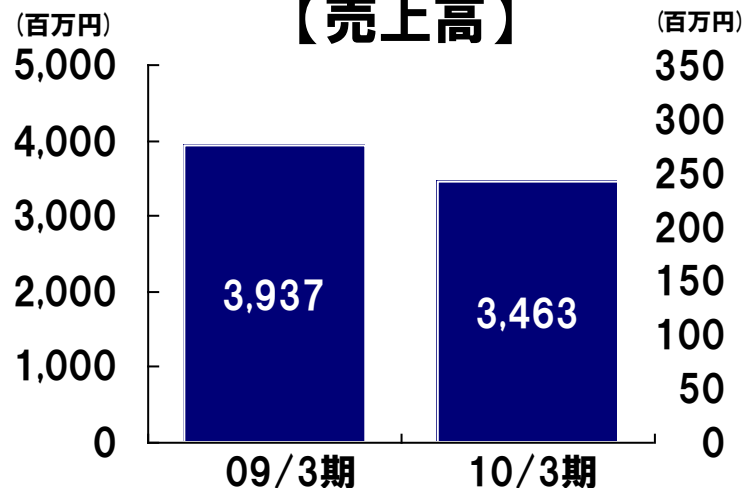
■ はCATERHAM

子会社紹介 トラスト

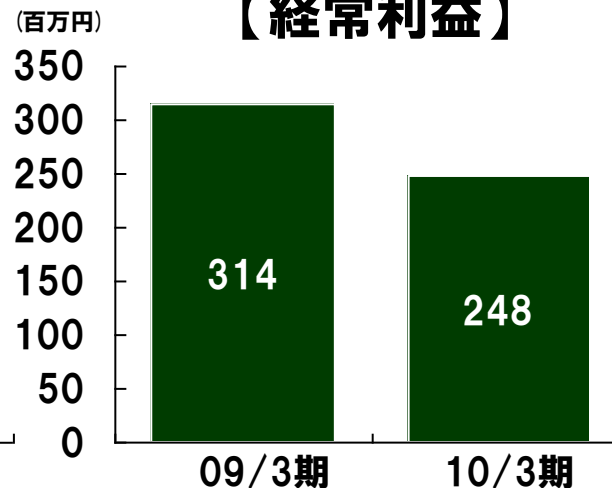
VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社



【売上高】



【経常利益】



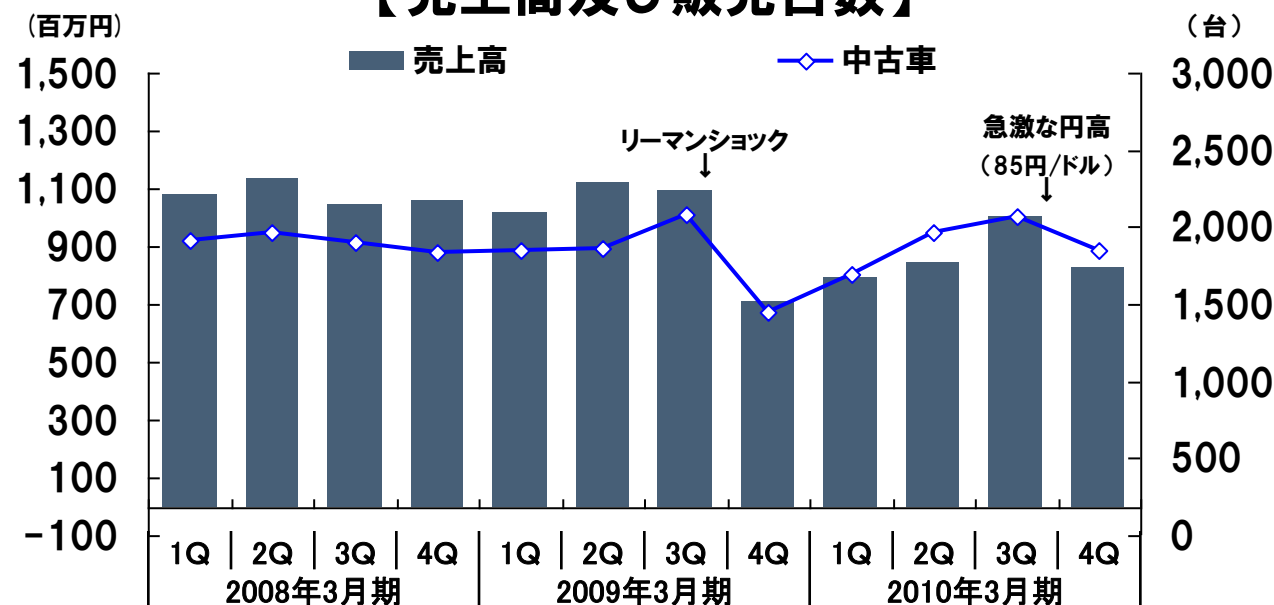
Points

上期までの急激な円高で一時的に収益悪化したものの、下期は価格転嫁完了し、回復

売上高経常利益率 7.2%
(前年同期 8.0%)

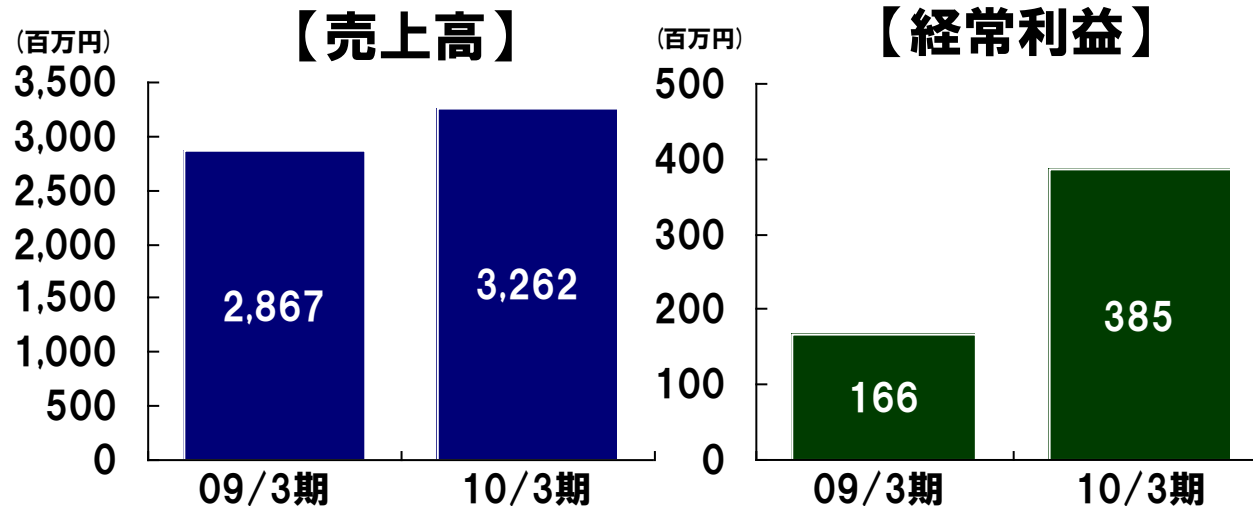
連結売上高に対する構成比 3.9%

【売上高及び販売台数】



子会社紹介 J-netレンタリース

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社



直営店 22店舗
FC店 49店舗
計 71店舗

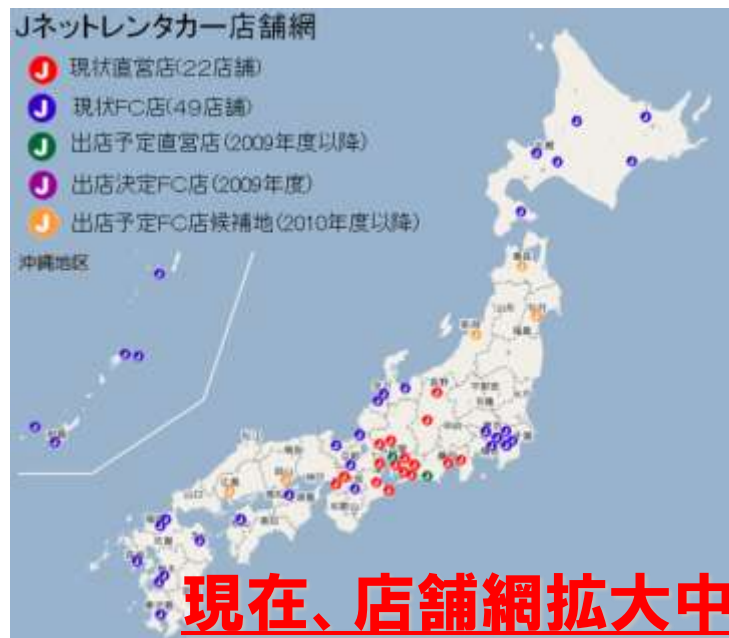
Points

自動車セグメント中、最も高い利益率により、自動車セグメント全体の収益率向上に寄与
休日高速道路1,000円政策が、個人客のレンタカー需要を喚起、昨年度新規出店した店舗の売上も今期増収に寄与

過去最高益を更新

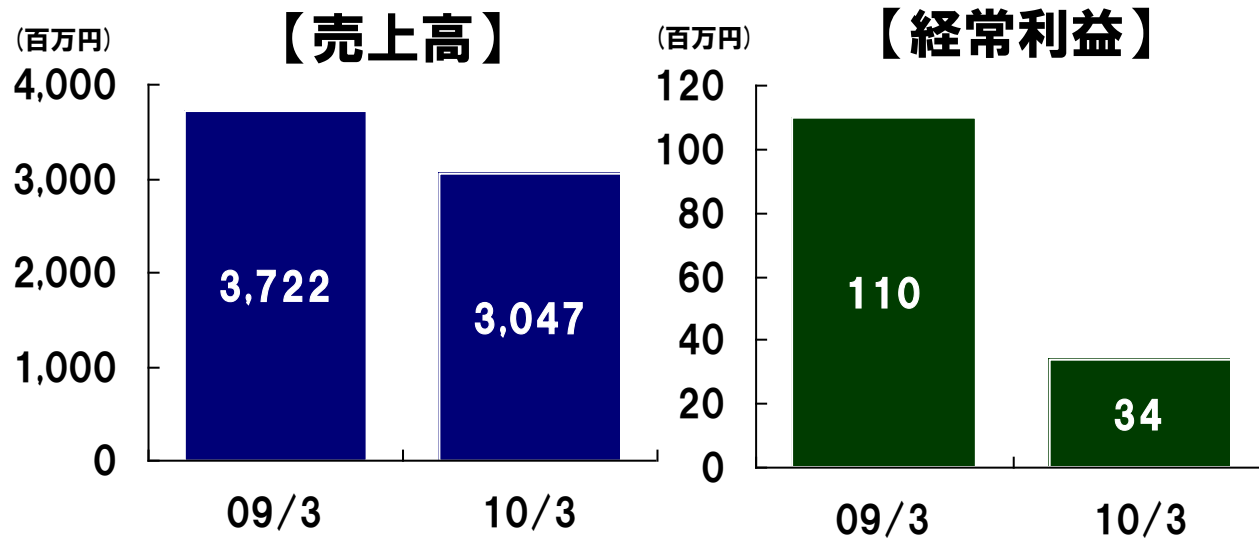
売上高経常利益率
11.8% (前年同期 5.8%)

連結売上高に対する構成比 3.7%



子会社紹介 アーキッシュギャラリー

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社



Archish
&
Gallery

Points

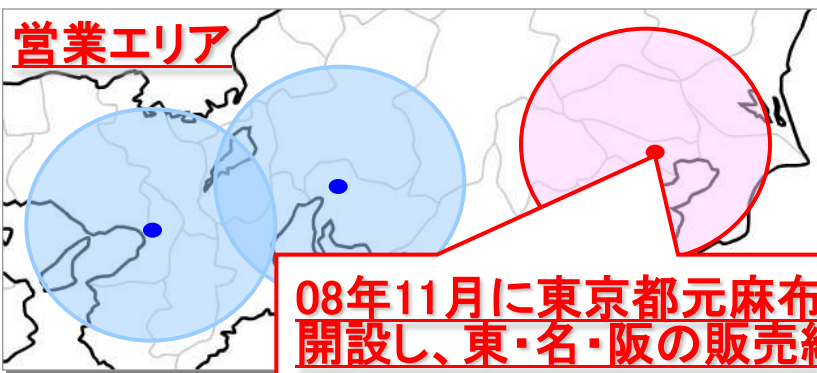
デザイナーズハウスの草分け的存在。

認知度が高まり、受注棟数、竣工棟数共に堅調に推移していたが、昨年度のリーマンショックに伴う受注減が、10/3期収益に影響。

現時点では受注も回復し、今期からは収益回復。

売上高経常利益率 1.1%
(前年同期 2.9%)

連結売上高に対する構成比 3.5%



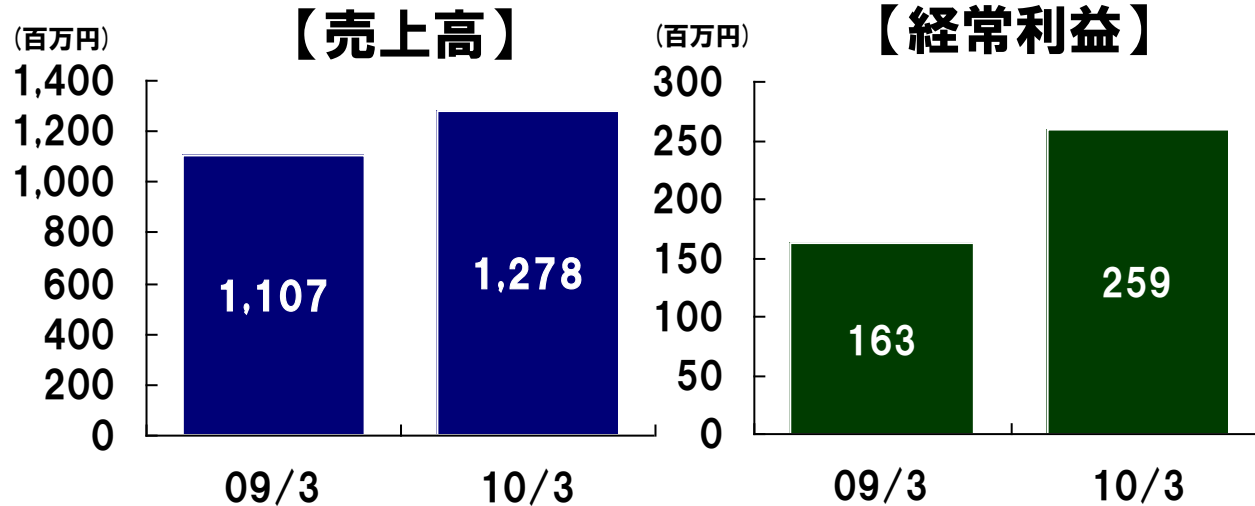
08年11月に東京都元麻布に東京ギャラリーを開設し、東・名・阪の販売網を確立。

東京都港区元麻布3-4-29
トゥールブランシュ麻布



子会社紹介 E-FOUR

VT HOLDINGS CO.,LTD
VTホールディングス株式会社



Points

地球温暖化対策への世界的な関心の高まりなどに伴い、省電力装置「E-FOUR」による電気料金の削減効果、さらには消費電力抑制に伴う二酸化炭素排出量抑制効果が期待され、世界各国から多数の問合せ

昨年度、販路を5ヶ国拡大

過去最高益を更新

売上高経常利益率
20.3% (前年同期 14.7%)

連結売上高に対する構成比 1.4%

